

バッドアート美術館展 Museum of Bad Art

東京ドームシティー 2018. 11. 22～19. 01. 14



「バッドアート美術館」は、1994年に画商がゴミ箱の中から最初の「バッドアート」を拾ったことから設立された、アメリカ・ボストンにある極めてユニークな美術館である。

館は「他のいかなる場所でも展示されず、真価を認められることのない作品を生み出した芸術家の健闘を讃える」ことに理念を掲げて運営をしている。

全米があきれた！？今、世界のメディアで話題となっているゴミ箱やリサイクルショップなどから集められた少々残念なアートたちは、決して有名な美術館に収蔵されることはないが、称賛せずにはいられない「迷作品」ばかりで、これらのアートを称え、収集・保存・展示することを理念とし運営している。

この美術館の収集選考基準は、第1にきちんとしたアート作品であること。つまり、芸術的意図を伝えるための誠実な取り組みがしっかりあること。

第2に制作過程で、技術不足、問題のある制作方法、風変りなテーマ、行き過ぎた表現などがあること。そして、第3に完成した作品が面白くて魅力的であること。議論や疑問が引き起こされる作品であることとされている。

本展では「800点」を超える本家ボストンの美術館の収蔵品から「110点」を日本初公開される企画（最初で最後かもしれないとされている）で話題を呼んでいる。 ≪ 「バッドアート美術館」の代表作3点 ≫



花咲く野原のルーシー



ケンタロスとバイカー



チャーリーとシーバ